

痔(じ)について おしり になりませんか？

皆さん、「痔(じ)」と聞くと「恥ずかしい」「人には言えない、聞けない」というイメージはありませんか？その思いに少しお答えします。

●「痔」とは？

「痔」は肛門周辺の病気をまとめた呼び名で、「日本人の2人に1人は痔を持っており、3人に1人は痔に悩んだことがある」と言われるほど、たいへん身近な病気のひとつです。主なものとして痔核(いぼ痔)、裂肛(きれ痔)、痔ろう(あな痔)があります。今回は痔の中で最も多い、「痔核(いぼ痔)」について説明いたします。

●痔核(いぼ痔)になる原因

直立歩行をする私たち人間は、おしりが心臓よりも低い位置にあるためうっ血しやすく、もともと痔核になりやすいです。に加え、トイレで強いいきむ、便秘や下痢、長時間座りっぱなしの仕事、刺激物を食べるなど、おしりに負担のかかる生活習慣や食生活が痔核の発症や症状の悪化に大きく影響します。

●痔核(いぼ痔)の症状

排便した時に出血する、便に血が混じる、肛門からイボが出る、などです(図1)。痔核が大きくなると痛みを伴うようになってきます。

なお、**肛門からの出血を「痔」と自己判断することは非常に危険です！**

「痔」の症状で来院される患者さんに**「大腸がん」**が発見されることが時々あります。現在「大腸がん」は、女性におけるがん死亡原因の第1位です。また2015年のがん統計予測では、大腸がんにかかる人は男女合わせて13万6千人と、がんの中で第1位になる見込みです。一生のうちに2人に1人が「がん」になる時代です。症状がある方は、ぜひ受診されることをおすすめします。

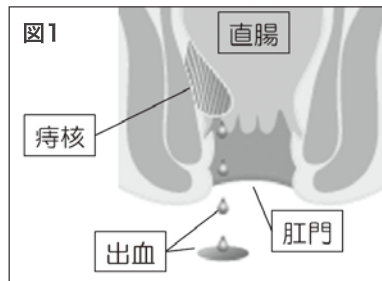


図2
診察の様子(図にはありませんが、実際には看護師が診察の介助をします)



文：外科 佐藤 太一



●痔核(いぼ痔)の診断

痔核に限らず、肛門疾患の診断は、問診と診察によって行われます。私は今までに4,000人以上の肛門疾患の患者さんを診察してきましたが、多くの患者さんを診察しておりますと、患者さんへの問診だけである程度病気が予想できるようになります。診察は図2のようにベッドに横向きになってもらい行います。最初に肛門周囲を目で見て、次に指を肛門の中へそっと挿入して調べます。最後に肛門鏡と呼ばれる小さい器具を使って診察します。

●痔核の治療

治療の基本は、便秘・下痢をさける、いきまない、といった規則正しい排便習慣や、食生活の改善などにより症状を悪化させないようにする「生活療法」が中心です。お薬を使って症状を和らげる「薬物療法」も行います。

上記の方法でも出血が改善せず、症状が進んで日常生活に支障をきたす場合には、手術や注射などの「外科的療法」を行います。手術や注射を受ける患者さんは、全体の1～2割程度です。

●外科的療法

外科的療法には主に硬化療法(注射)と手術があります。どちらも原則入院し、麻酔をして行います。

1. 硬化療法

ALTA(商品名ジオン®)というお薬を痔核に注射します。それにより痔核を小さくし、症状を改善させる治療です。注射薬の使用許可を受けた医師のみが行える治療法です。当院では安全性を優先し、原則1泊2日の入院で行います。

2. 手術療法

痔核を切除する方法です。最も根治性(病気が治ること)にすぐれています。10日程度の入院が必要になります。

最近では、ALTA注射と手術を併用して行い、それぞれの長所を生かすことで、根治性を保ちつつ、術後の痛みや入院日数を短縮する方法も行っております。

●さいごに

「恥ずかしい」「怖い」という理由で、中には10年、20年以上悩んで受診される方もいらっしゃいます。多くの患者さんが、「もっと早く受診して治療すれば良かった」と言われます。「痔」は非常にありふれた病気のためか、雑誌やインターネットなどでも、正しい情報と間違った情報が混在しています。当院では月曜午後到大腸肛門病専門医(那須野、佐藤)による大腸肛門外来を行っております。「痔」でお悩みの方は、ぜひ一度ご相談いただければと思います。

沼津市・裾野市・長泉町・清水町にお住まいの皆さま
**特定健康診査・各種がん検診の
ご予約はお済みでしょうか？**

現在、聖隷沼津健康診断センターでは、沼津市・裾野市・長泉町・清水町にお住まいの方を対象に「特定健康診査及び各種がん検診」を実施しております。(検診期間:2015年6月15日～10月31日)

今年は6月15日より検診開始となりましたが、皆さまの受診・予約状況はいかがでしょうか？

例年、検診期間が終了に近づく9月頃より予約数が増え、施設内も大変混み合っておりま。検診期間終了までに確実に受診していただくために、今年は当センターも予約枠を増やし、より多くの皆さまに受診していただける態勢で望んでおりますが、予約がとれずに受診できなかったということがないよう、お早めのご予約をお願いいたします。

★当センターでは、「特定健康診査・肝炎ウイルス検査・前立がん検診・胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診」の、ほぼ全ての検診を一度に受診していただくことも可能です。

●比較的予約がとりやすい時期：8月

8月は夏休み・お盆休みなどを利用し、レジャーや旅行にお出掛けになる方が多いためか、比較的予約がとりやすくなっています。

●混雑が予想される時期：9月後半、10月

検診期間の後半は例年駆け込み予約が殺到し、予約が大変とりにくい状況となっております。予約時期によっては、一部もしくはすべての検診を受診できないこともございます。

■お問い合わせ■**「055-962-9882」
(ガイダンス②番です)**

※今年の特健康診査及び各種がん検診実施期間は6月15日～**10月31日まで**となります。

※当センターは完全予約制のため、お電話または直接ご来院いただきご予約ください。

※あくまで過去の検診期間の状況を踏まえた推測であり、記事の内容を保証するものではありません。

聖隷沼津健康診断センター

病院を綺麗にし隊！

6月20日(土)今年も梅雨の合間を見て、毎年恒例の「クリーンアップ作戦2015」を行いました。

このクリーンアップ作戦も今回で4回目となり、毎年参加する者も多く、スタッフ間にも夏前の恒例行事として浸透してきました。

今回も、病院前の子持川を中心に施設内の草木の駆除、そして、タバコや空き缶、ペットボトルに傘など、たくさんのごみを回収することが出来ました。

清掃後には、多くの方から笑顔で「綺麗になったね」とお声掛けいただき、クリーンアップ作戦の効果を実感しました。

「ゴミがあるところにゴミが集まる」とよく言いますが、定期的に清掃をすることで、このような綺麗な環境を保っていききたいと思います。(文:事業企画室)



作業開始!



綺麗になりました